



令和7年4月 義務教育学校として開校



大崎市立鳴子小中学校は、鳴子小学校、川渡小学校、鬼首小学校、鳴子中学校の4校が統合した学校で、令和7年4月1日に大崎市2番目の義務教育学校として開校しました。県内でも有数の広範囲学区で、大崎市の面積の4割を占めています。広範な学区から通学する児童生徒のために、9ルートスクールバスを運行しています。

1 小中一緒の活動

- 1年生から9年生まで全校児童生徒での入学式、運動会、文化学習発表会、卒業式。
- 5年生以上の児童生徒が、委員会や児童生徒会を運営。
- 全校音楽朝会、全校講話朝会等の実施。
- 全校交流会（校舎内かくれんぼ）



前期・後期課程合同での運動会

2 乗り入れ授業の実施

- 5年生、6年生の外国語の授業は、後期課程の英語の教員が指導。
- 5年生、6年生の理科の授業は、後期課程の理科の教員が指導。
- 3年生から9年生までの音楽の授業は、前期課程の音楽専科の教員が指導。



前期・後期課程合同での文化学習発表会



後期課程理科教員による
5年生理科の授業



後期課程英語教員による
6年生外国語の授業

3 同じ校舎での生活と学習

- 6年生教室の隣には7年生教室があり、常に後期課程の様子を見ることができる。
- 登下校時や休み時間には、全校児童生徒がコミュニケーションをとる姿が見られる。

4 今年度の成果・課題、次年度に向けて

今年度は、統合により、前期課程は後期課程の動きを見ることができ、後期課程は前期課程の動きを見ることができた。次年度は、学校行事や総合的な学習の時間等の内容を整理、精選し、9年間を見通した教育課程の充実を図るとともに、小中学校教員間で指導の在り方について一層の共通理解を図っていく。